

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒141-8643
 住 所 東京都品川区大崎1丁目11-2
 氏 名 株式会社ローソン
 代表取締役 竹増 貞信 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ローソン		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区小田2-4-3		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	コンビニエンスストア「ローソン」のフランチャイズチェーン展開		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	7,407	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについてはホームページにて公表しています。 http://www.lawson.co.jp/company/activity

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 基本方針

本計画期間において、CO₂ 排出原単位で毎年 1% 以上の削減を目指します。

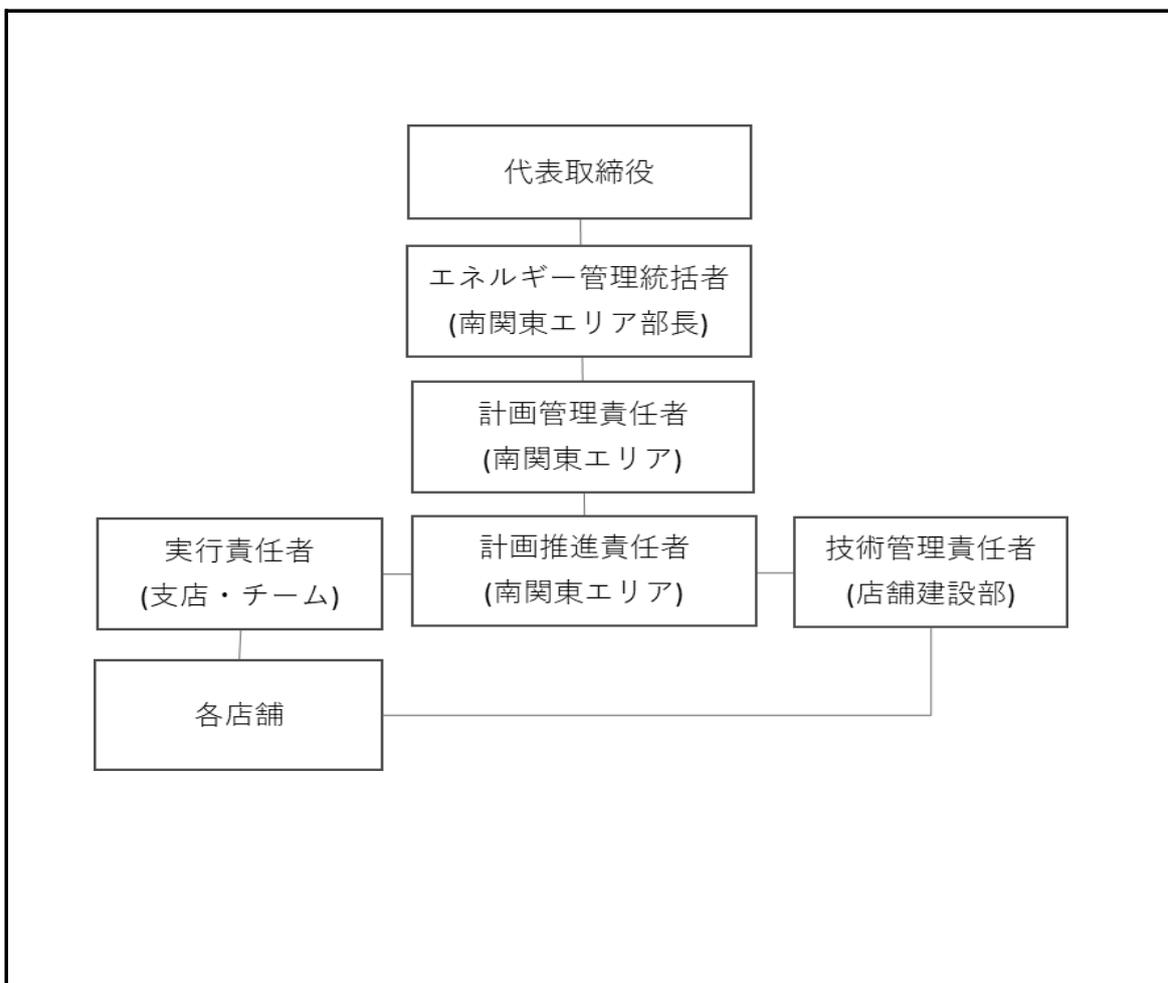
2. 目標実現のための施策

- ・ 既存店については一定年数を経過した冷凍機、空調機の入れ替えを実施します。
- ・ 新店については省エネ性能の高い機器を標準的に導入します。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC A サイクル）を行うための方針

環境方針に基づき進行管理を実施します。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 15,414 (調) 13,824 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目標	排出量	(実) 14,952 (調) 13,409 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削減量		(実) 462 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) 462 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率		(実) 3.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		売上高	
原単位の単位		t-CO ₂ /億円	
基準年度の値		45.37	
目標年度の値		44.00	
削減率		3.0 %	%

ウ 目標設定に関する説明

<p>基準年度値は令和3年度のローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100のエネルギー消費量から算出されるCO₂排出量を基準排出量とした。 ・目標設定は全社目標と同じ</p> <p>総排出量の計画は、2021年度の店舗数を基に算定しています。 （出店・閉店の影響により、数値は変動します。）</p>

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

<p>1. 基本方針 本計画期間において、CO₂排出原単位で毎年1%以上の削減を目指します。</p> <p>2. 目標実現のための施策 ・既存店については一定年数を経過した冷凍機、空調機の入れ替えを実施 ・新店については省エネ性能の高い機器を標準的に導入 ・全店「省エネ10か条」の励行</p>
--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	年平均1%以上のエネルギー消費原単位の削減(低減)に向け、 既存店の省エネ機器導入計画 ・省エネ導入改装・3店 ・店舗改装・7店 ・CO2冷媒機器・4店 店舗では、「省エネ10か条」 (各機種類のフィルター清掃、空調温度の適正管理等)を徹底します。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ・既存店の省エネ機器(冷凍機、空調機、看板LED)への入替え導入 ⇒現在、106店舗入替済み ・新規出店店舗への省エネ機器(LED照明、トイレ人感センサー等)の導入推進 ⇒3ヶ年の新店16店舗導入完了 ・一部店舗においてCO2冷媒冷凍冷蔵システム導入 ⇒現在、35店舗導入済み ・太陽光発電システム導入 ⇒現在、導入店舗なし ・店舗での「省エネ10か条」(各機種類のフィルター清掃、空調温度の適正管理等)の励行

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	店舗の電力使用量及び電気料金の削減のため、一部の店舗において太陽光発電装置を導入
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	△	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	△
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	△	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	2008年4月より、お客さまが身近な店舗で参加できる環境活動の一つとして「CO2オフセット」運動を開始し。会員カードのポイントとの交換や店内の情報端末「Loppi」でのオフセット申し込みが可能。また排出権付き商品の販売にも取り組んでいる。今後も更なるオフセット件数(量)の拡大に向けて、上記取り組みを強化していく。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローソン緑の募金による学校緑化・森林整備の実施 ・ お客さまと共に省資源(レジ袋削減)の実施 ・ 食品リサイクル ・ 廃棄物の分別推進によるCO2排出量削減 ・ 物流の共同配送による効率化 ・ CO2冷媒(ノンフロン)冷凍・冷蔵機器の導入促進
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	15,414	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

7,407	KL
-------	----

ウ 事業所の数

2

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎市内全店舗-2 (MC)	川崎市川崎区小田 2-4-3	12,611 t-CO ₂
川崎市内全店舗-1 (東電)	川崎市川崎区小田 2-4-3	2,803 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂